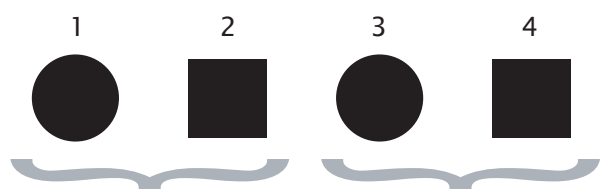


オノマトペが持つ特色

① オノマトペは音によって独特のリズムを持つ。

しとしと と さらさら では読むときの速度や呼吸の仕方に違いがある。

② オノマトペの多くは四文字で二回の韻を踏む。



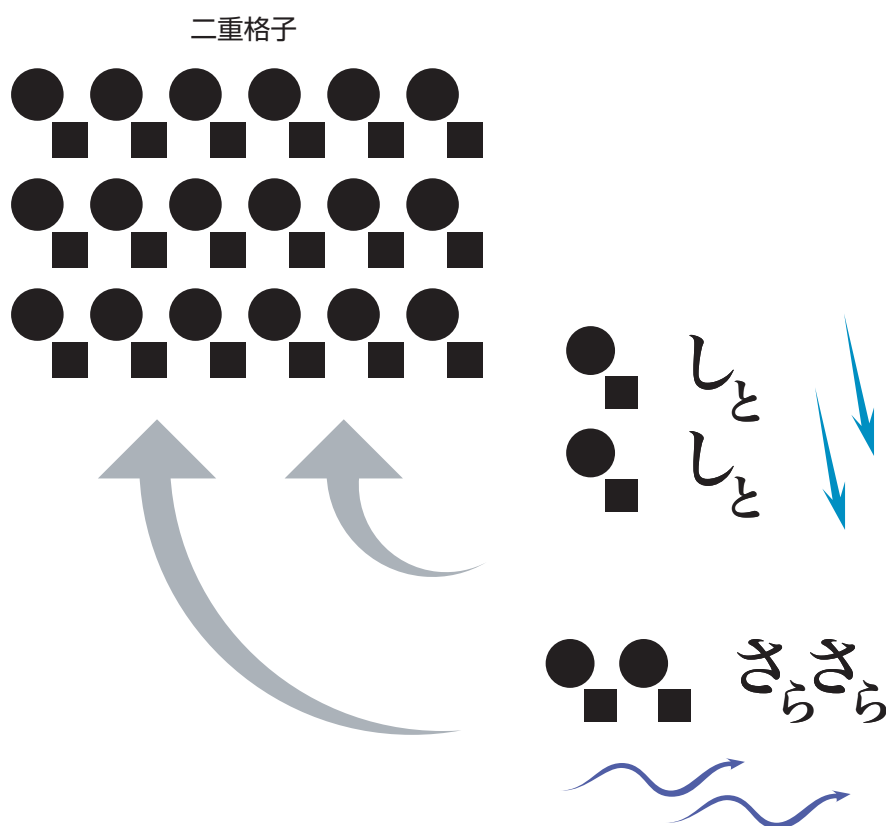
気象に関するオノマトペの一覧 (ex)

風／凧	寒	晴	乾	雪
さー	ぞぞぞ	ぎんぎん	からから	しんしん
ひゅー	ひゅー	ぼかぼか		こんこん
ざわざわ	ひやひや	きらきら	霧／霞／霜	ぺちゃぺちゃ
きしきし		びかびか	もやもや	さくさく
かさかさ	雨		もわーん	
すーすー	しとしと	雷		雲
さらさら	ざーざー	ごろごろ	暑	どんより
ひゅう	ざあざあ	びかっ	じとじと	
そよそよ	ぼちゃぼちゃ	びしゃーん	かんかん	
ごうごう	ぼたぼた		じりじり	
びゅーびゅー	ばらばら			

二重格子の構造

可視化するにあたり、オノマトペが持つ特色を配慮して二重格子の構造を用いている。

二重格子の構造により、しとしと というような縦方向の直線的な動きと、さらさら というような横方向の曲線的な動きを同時に表現することが可能になっている。



オノマトペの動き

凧には さらさら とやさしく空気が流れる。

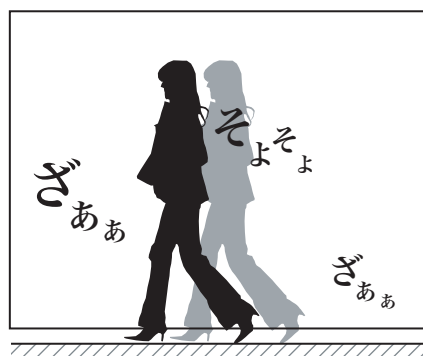
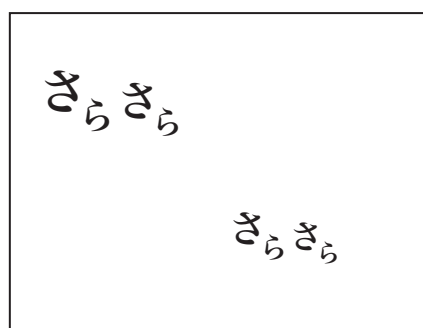
弱風には弱く、強風には力強く ざあ と風が吹く。そして、体験者の影にオノマトペが重なると そよそよ と触覚を刺激する。

雨が降り始めると、はじめは弱く、次第に激しく しとしと と雨粒が降り注ぐ。そして、体験者の影に雨粒が接触すると ぽつぽつ と飛び跳ねる。

最終的には現在の気象からだけでなく、作品空間周辺の様々な要素が作用して、その時のその場の雰囲気 (ambient air) が可視化される。



オノマトペの動きは、木々がさざめいている様子を参考にしてている。



体験者の移動に伴い、オノマトペの動きの変化量が増減する。これは、身体の移動による相対的な風速の変化＝**追い風、向かい風**を再現している。

